

伊犁三角

伊犁の七城

程約七里餘にして、綏定城スイテイジン即ち伊犁府に入る。此地より更に西北方に進めば、清水ナンスイ河即ち膽徳城タントクに、又南下せば、新城即ち惠遠城ホイヨワンに達すべく。前者は行程我三里弱後者は僅々一里強に過ぎず。予は此地及其の附近に滞在するもの十七日間、更に路を東南方に轉し、喀喇沙爾カラサルに向つて出發せんとす。

三面奇峯一面開

戍樓對峙霍河隈

將星高挂邊疆外

瀚海天山不染埃

五、伊犁

伊犁の地たるや、天山其の南に峙ち、塔爾奇山其の北に聳へ、那喇特山ナラット其の東を控し、霍爾果斯河ホルゴス其の西を繞る。是に於てか地形自ら東に狭く、西方次第に開けて、殆んど三角形を成せり。故に歐人此の地を稱して、伊犁三角と呼ぶ。

伊犁七城とは、惠遠城、綏定城、塔爾奇城、瞻徳城、拱宸城コンシン、廣仁城、熙春城シチュン、即ち是なり。而して別に寧遠城ニンヨワンあるも、回城の故を以て算入せず。此地舊と準噶爾の游牧地に屬せしかば、固より城廓等の有るべき無く、清廷之を討平し、乾隆二十九年(千七百六十七)伊犁河の北岸に、先づ惠遠城を創築せるを始とし、由來其要を感じ、一城を加へ、一城を